

アレルギー性鼻炎

ふくだ耳鼻咽喉科クリニック 院長
福田 洋一郎 先生

今年はスギ花粉でお悩みの人に二つの朗報があります。一つ目は関東甲信越地方のスギ花粉の飛散が、昨年の大飛散に比べると少なく、例年に比べても 50~90%程度と予測されていることです。くしゃみ、鼻水、鼻詰まりなどの症状は花粉の飛散量に比例して悪化する傾向がありますので、今年は症状の軽い人が多いかもしれません。花粉の飛散は 3 月がピークなので注意が必要です。二つ目はスギ花粉症に対する新たな薬が今年の 1 月に厚生労働省から認可されたことです。この薬はスギアレルゲン舌下免疫療法薬といい、スギ花粉症の根治を目標とするものです。これまでもスギ花粉症を根治するための薬はありましたが注射薬だけでした。今回認可された薬は口の中（舌下）に含んで治療するもので注射による痛みがなく、自宅での治療の継続が可能になりました。また、重篤な副作用であるアナフィラキシーショックの報告もほとんどありません。一方で新薬は発売から最初の 1 年間は一度に 2 週間分しか処方できない決まりがあるのでその都度受診しなくてはならない、花粉が飛散してない季節を含めて最低でも 2 年間は毎日服用を継続しなければならない、全ての人に効果があるわけではない、などのデメリットもあります。その他にもこの薬による治療の対象になれるのは成人および 12 歳以上のスギ花粉症の人に限られ、重症の気管支ぜんそくの合併のある人は用いるべきではないなどさまざまな条件があります。医師の側でもこの薬を処方するためには厚生労働省の指定する講習会を受講した上で試験に合格しなければならず、現在その準備中です。残念ながら年内発売予定なので今シーズンには間に合いませんが、対症療法が中心の現在のスギ花粉治療の中で根治を目的とした新薬の登場により、多くの方がスギ花粉症の悩ましい症状から解放されることが期待されます。